

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

秋季号

JESUS IS LORD



# 日本アシュラム

AUTUMN

1989

United Christian Ashrams of Japan

68

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって。常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



## 「しかし主に向く時」

(Ⅱコリント3の12-18)

横 山 義 孝

アシュラムの目的は、キリスト者一人一人が聖霊に満たされ、教会に真実の交りを回復し、福音の宣教者として、力強く世に派遣されることにあります。

聖霊が注がれる時、パウロの云う罪の顔おおいが取除かれ、聖霊による自由と喜びの生涯に変えられるのです。この顔おおいとは一体何でしょうか。それは所謂律法主義によって結果されるところの人間の肉性の見憎さ、無力さ、もろさ又、神のみ旨を正しく理解し受けとめることの出来ない無知です。パウロが「善をする意志は自分にあるが、それをする力がない」(ロマ七・18)と嘆き私たちがほんとうに与えられたいのは「隠された奥義としての神の知恵(Ⅰコリ二・七)である」と告白している通りです。感謝すべき時に感謝が出来ない。喜ぶべき時に喜ぶことが出来ない。事々につぶやきや、ためいきだけが出て来るといった矛盾した状態は、罪のベールがかかっている結果なのです。これでは真実に

福音のあかし人になることは出来ません。

それでは聖霊を受ける秘訣は何でしょうか。それは魂の全存在をもって『主に向く』ことです。これには三つの意味があります。

(一)第一は真実に罪を悔改めることです。主は私たちが愛し給う故に、内に不信、不従順の偽りを指適し給うのです。復活の朝主はペテロに、「あなたはこの人たちが愛する以上にわたしを愛するか」(ヨハネ2の15)と三度問いかけられたのでした。その主のご愛に応えて謙虚に罪を悔改める時、主はゆるし(Ⅰヨハネ1の9)と希望(ホセア2の15)とを約束して下さいます。

(二)次は神第一の信仰に徹することです。「イエスは主である」というアシュラムのテーマは、主は凡ての被造物の支配者であり一切に先んじて私たちに對する所有権を主張し給うお方です(コロサイ1の18)。故にイエスを主と告白しながら我がまま、身勝手手先が先に立って、主ご自身

のことは第二、第三になっっているなら、その信仰生活はキリスト者にふさわしくありません。聖霊はいつでも、どこでも神第一の信仰を献げる者(マタイ6の33)に保証されるのです。

(三)純潔な心。第三は魂の純真さ、純潔な心を主に献げつくすことです。前項は優先順位において神第一。ここでは心の深みに於ける純一無二の潔白さ、完全さです。メソジストの祖ジョン・ウエズレーは「心の割礼」という説教で次のように云っています。「神のみ名を讃えるため以外に生きることを願ってはならない。あなたがたのすべての思想、言葉、業を彼の栄光のために用いよ。心に純潔な動機を保ち、すべての行為において神の栄光を現わすよう揺がない注意を払わなければならない」と。一瞬々々を心の全きをもって主に従い仕えようとする者に、神は惜しむことなく聖霊をそそぎ給うのです。それは「神がわたしたちの内に住まわせた霊をわたむ程に愛しておられる」(ヤコブ3の5)故です。

栄光主にあれ、ハレルヤ。



振替口座東京〇一四五五八番  
理事長 海老沢 宣道  
編集人 淵 江 淳一  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部60円 千60円

△アシラムの守り方▽ □

アシラムの目的

海老沢 宣道

クリスチャン・アシラムは世界的宣教師スタンレー・ジョーンズによって創始され、インドから全世界に伝えられた「祈禱生活運動」であります。多くの人が、彼は「より良い方法」を持ってきてくれたと感謝しています。

アシラムは真の道への一つの道として存在します。「われらはこれが唯一の道であるとか、最善の道であるとは主張しません。ただ真の道への一つの道である」と主張します。この生活の中心には誰も人間が立ちません。全員は主イエスを中心にして集まり、各自の社会的地位や肩がき、人種、性別、年令の垣根を取りはずし、同時に心中にある一切の不安、罪責、自己卑下と悩みや悲哀も共に主の御足の下に投げ出すのです。

この正直な誠実さによって、私たちは「神の国の到来」を待望し、そして受入れるのです。それが実現する時、イエスが私たちの主となつて下さいます。このイエスの支配と指導によって、人生問題の解答を見出し、具体的、実地的な信仰を与えられて、家庭に職場に教会に帰って行くことができます。

『イエスは主である』

キリスト中心の信仰は抽象的なものではなく、御言が肉体となることでもあります。これが真実とすれば、私たちの信仰の証しは、御言が私たちの生活の中に肉体化することになればなりません。これが実現する時、私たち自身が神の国のひな型になるのです。

アシラムとは、以上のことが各個人の生活に具体化することですから、各個人は新しく造り変えられ、彼また彼女の属する教会は、霊的に強められ、主イエスに全ての栄光が帰せられます。この事はイエス中心であり、教会中心、個人中心でもあります。

アシラムの構造は、ピラミッドの三角型をしています。頂点に主イエスが指導者として立ちます。何事も主から出発します。私たちは主によって動かされ、全教派の信徒は主の下に集合します。教派的集会ではないから、未信者も自由に参加します。

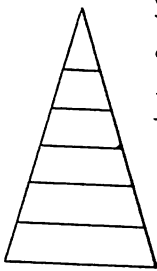
頂点の下に横線を五本引いて、その第一段に(7)と記入して下さい。この七名が全国的運動の推進母体となります。第二段に(12)と記入して下さい。これは各地に組織される委員会、地区アシラムの世話役十二名のことです。主の御弟子も十二名であることは大いに参考とすべきです。第三段に(一一〇)と書入れます。これは各地の参加者(家族)を意味しますが、必ずしも人数を文

字通りに解する必要はありません。エルサレムの二階の部屋(アパ・ルーム)に連日の祈禱会をした群の数に相当します。この人々によってアシラムの生活が実行体験されるのです。人数がこれ以上集まるような時は、地域を二分した方がよいでしょう。

第四段に(五百)と入れて下さい。これはアシラムの賛同者で、この運動のために祈り、働き、支持する人々で、復活して今も生き給う主に出会った人々の群であります。

第五段には(教会)と入れます。アシラムは教会中心の働きであって、人々を教会から引出し、彼らの忠誠、愛、時間、才能をこのために奪うものではありません。彼らをより良い人間、真の弟子へと生れ変らせ、より良い牧師、役員、信徒として、キリストの体としての真の聖なる公同教会に仕える者とする運動であります。

第六段には「神の国」と書いて下さい。私たちは主イエスと共に出発しますが、主の御働きは「神の国」を以て出発されました。主イエスに対する私たちの忠誠は、当然の結果として、神の国に対する忠誠を生み出すものであります。



アシラムの五大原則

- (一) キリストへの明渡し
- (二) 御言への静聴と立証
- (三) 聖霊の啓蒙と在野

第二〇回

四国アシラム報告

委員長 河野 修

第20回四国アシラムは、9月22日123日松山済美会館で、「キリストへの明け渡し」を主題に開催された。

助言者は土山牧羔師、福音の時及び充満。献身の時の御用をして頂いた。

第一日は午後二時よりの開会礼拝(河野修師御用)に続き開心(中川昭師御用)、福音の時(一)を持ち、夕食には自己紹介、スピーチ、詩吟等もあって楽しい交わりを持った。

夜は静聴(ヨハネ15章)に続いて二つの分団に分かれ、岡田師と山崎師の司会により祈りの細胞の時を持つ。

第二日目は静聴(一コリント13章)に始まり、朝食、福音の時(二)、祈りの細胞、昼食、充満、献身の時を持って午後三時感謝のうちに閉会。

土山師は、コリント人への手紙五章により、「強く迫るキリストの愛」

「キリストによる新しい人」と題して福音の豊かな恵みとこれに心える私達の在り方を、理論的且つ霊的に説き、感銘深い例話をもってお話しされ、最後に使徒行伝六章一七により、信仰と聖霊に満ち溢れて主の器として奉仕する幸いを示された。

一同恵みに満たされ献身を新たにすると共に、栄光を神に帰し散会した。

好評・再版出来

海老沢宣道著

「アシラムの原則と実際」

新書判52頁 価三百円千70円



# 山根可弑師を偲ぶ

海老沢 宣道

わが連盟の常任理事として今春まで約二十年間、強力な指導と協力、親しい主に在る交わりを与えられた山根師が、89才になり大分弱くなられたと聞いていたが、遂に去る九月十九日逝去されたことは、池ノ上ホーリネス教会は勿論、わがアシュラム運動にとって大きな痛手である。

同師は明治32年山口県生れで、大工の子として苦勞の多い少年期を送り、上京して苦学しながら、警視庁警備係の嘱託になり、十数年を公務員として過された。夫人の導きで入信、献身、伝道者となり、MRA、聖イエス会との交わりにより影響を受けられたが、単立池ノ上教会を起され今日に至った。その間昭和46年天城山荘でスタンレージョーンズ最後のアシュラムに出席され、翌年日本アシュラム連盟結成に福音派から参加し、熱心に理事会を指導され、各地の集会を応援されると共に、御自分の教会にアシュラム生活を守らせ、城北の数教会連合の一日アシュラムを毎年開催する前例を作られた。師は祈りの人で、毎朝早く密室の祈りと静聴を守られ、その記録ノートは山程になっている。またキリスト内住の信仰により頑固なほど強い

確信をもって奉仕された。アシュラムの五大原則を御自分の生活に実行されて、私たちの模範であった。

晩年ある兄弟の好意で目白マンションの十一階に移住され、「祈りの家」と名づけて、同信の友を招き、祈りの集いを続けられ、私共、連盟の役員会も度々お部屋を開放して頂いたが、一つ残る印象は訪問する度に山根師が握手の手を伸ばして、「いつもお祈り頂き有難う」と挨拶されたことである。その度に先生の

ためにどれだけ祈ってきたかと反省させられた。自叙伝「キリストの形なるまで」の終りに書かれているように、昭和55年に十一階の部屋で福井、森、安藤、神山と五名が集い、「八十路会」を結成され、共にこの

年令まで主の恵みの下に伝道者として生かされたことを感謝されたが、その時、私に「あなたはまだ少し年数が足らんね」と言われた。今日私は満81才を過ぎたので、入会させて頂こうかと思っていた処、地上でのお交わりは不可能となってしまう。然し山根師は美しい天国に帰られ、主のみもとにおいて私共のために執成しの祈りをして処を備え、待っていて下さることを信じる。

世界アシュラムの

(ピリビ書 第二章 十一節)

- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

## 八丈島中之郷

### アシュラム報告

中之郷伝道所牧師

細川 静

植村俊雄教師(関東アシュラム委員)の熱いお祈りと、おすすめに由り、このアシュラムを計画、九月二一、二二日(木、金)に実施致しました。

このアシュラムの指導のため、アシュラム連盟理事長海老沢宣道師、同総務大石嗣郎師、渕江淳一師と植村俊雄師、草村美師、それに応援として石谷類造、茉萩御夫妻の七名が二一日(木)御来島、定刻午前十一時過ぎ空港着、直ちに中之郷伝道所へ向った。昼食小憩の後「ローマ人への手紙第四章に学ぶ」を主題に、午後三時よりプログラムに入りました。

開会礼拝とオリエンテーションを三時半まで筆者の司会、続いて草村師の司会で開心の時、更に四時半より植村師の司会で静聴の時を持ち、聖言の恵みを分かちあいました。

午後五時半より「希望の村」に移動、七時より海老沢師の福音の時、地えの殆んどが初めてのため、アシュラムについて懇切丁寧な解説に、参加者一同大きな恵みを感じました。

翌23日六時半より植村師による黙想の時、九時十分より大石師司会で

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

静聴の時、八時朝食、八時半より祈りの細胞の時となったが、出席十名程であったので一つの輪となり、八丈の伝道、特に当伝道所が明年創立40周年を迎えるに当り、二種教会設立、会堂建築実現のため祈って頂き、渕江師による充滿の時の恵にて終る。出席者22名、八丈島教会の水野績牧師御夫妻も参加下さり感謝でした。最後に、遠路来島ご指導下さった諸先生及び会場提供、送迎案内等の陰の労をとられた宮腰治兄(希望の村経営、教会役員)への心からなる感謝を附記して報告いたします。

### 第二七回

#### 関東アシュラム報告

委員長 向山自助

一ヶ月前八月一四日から、準備のための二四時間連鎖祈禱が始められ、静聴テキストも与えられて、私は百名を目標に祈ってまいりました。

九月一三日から一五日の三日間、例年のように奥多摩福音の家で開催されたのですが、参加者は半分近くで会場を借り切ったことになり、静かに恵まれたアシュラムを持つことを許され、出席者がテキストをよく静聴されており、とても有難かったです。その上少なくとも、始めての方、何年か振りの参加者があったことは恵のしるしのように、うれしいことでありました。

### 世界アシュラム60周年記念 第八回国際アシュラム

来年六月・カナダで開催

一九九〇年はスタンレーがインドでクリスチャン・アシュラムを創始してより満60年を迎えるので、第八回国際アシュラムは、その記念大会として、六月13・17日にカナダのハリファックス市で開くことになり、ゴールドン・ハンター師から招待状が来た。今日までエルサレム、インド、日本、北歐、米、韓国などを廻したが、次回にもわが連盟は多数の同志と共に参加したいと考え、近日詳しい案内文を作製する予定。今から心積りを立てられるようお願いする次第である。

### 全日本アシュラム

日時・一九九〇年九月23―25日  
会場・箱根アカデミー・ハウス  
(神奈川県芦ノ湖畔)  
招待助言者・D・P・タイタス師  
(インド・サトタル主宰者)  
各地区委員会にて今から祈りと御準備をお願い致します。

### 第二三回

### 関西アシュラム報告

委員長 古河 治

九月15・16日、関西学院千刈キャンプ場にて開催。主題は「キリストへの明け渡し」で、助言者は土山牧師。参加者総数59名。

プログラムの第一日目は開会礼拝オリエンテーション。昼食後、開心の時、祈りの細胞(第一回)、黙想の時。夕食後分ち合いの時、続いて聖書の時を以て終り、午後10時より翌日午前6時まで連鎖祈禱。

第二日目、早天の祈り会は、雑木林の中で小鳥や蟬の鳴き声と共に金元治師の力強い奨励で始められた。朝食後第二回目の祈りの細胞、そして労作の時を経て、いよいよクライマックスの充滿の時を迎えた。一泊二日と言う短い期間ではあったが、参加者各自が夫々言いしれぬ霊的な力と慰めと希望に満たされ、昼食を以て解散。

今回の特徴として良かった点。  
一、開心、聖書の時、充滿の時等の中心部分は一人的助言者、土山師に委ねた事。同師により、アシュラムの原点に近づけられた。

二、場所を千刈キャンプ場に移した事。最初は未知の場所であり、従来大阪近郊ではなく、遠方の足場の不便な所であるので心配があったが、実際に使ってみると、大いに自然に囲まれ、諸設備もとのいい

素晴らしい場所であった。  
三、関西アシュラムの旗を新しく作り、キャンプ場に掲揚した事。

四、参加者の中に東北の塩釜バプテスト教会の兄弟が加えられた事により、全国的規模に拡って来た。

### 九州アシュラム報告

委員長 山本繁夫

ハレルヤ、「イエスは主である」九月二五日・二六日の二日間、北九州市八幡東区の西南女学院河内研修所で開かれました。

会場は静かな、美しい森の中の大きな場所、アシュラムには最も相応しい所だと思われました。

助言者は四国の金田、福岡の鍋倉河野の恵まれた方々で、「イエスは主である」「この福音によって救われる」の主題のもとにプログラムが進められました。

「静聴の時」は充分時間をとって、「エペソへの手紙」に聞きつづけた。 「ファミリ」では全員口を開いて恵みを分かち合い、「福音の時」は、力強く語られる助言者の言葉に、一同心を打たれるものがありました。「証しの時」は数多くの方々が、それからそれへと証しがつぎ、時間の少なきを感じました。祈りの問題には一同心を一つにして祈りました。

「充滿の時」は文字通り、一同恵みと感謝にあふれました。かくて嬉々として、明年を約して、家庭に教会に帰って行かれました。

主よ憐なり給え。出席四十名。  
この恵まれたアシュラムも、全国にある皆さんの祈りによることとて、心から御礼申し上げます。



東北アシュラム写真速報  
10月10日 於飯塚教会

### ◇ 計 報 ◇

徳島県石井教会の退任牧師黒田四郎先生は、日本アシュラムの全国委員長をされたこともあり、われわれにも忘れることのできないお方であったが、去る九月一六日吉村静枝女史経営の老人ホーム紅山荘にて天に召された。九三才の生涯を主に献げきった、われわれアシュラム人の先達であった。

### ◎ 献金報告

向山自助 一〇,〇〇〇円  
向山芳子 一〇,〇〇〇円  
合計 二〇,〇〇〇円 (大石)

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を

取り入れて創始された。アシュラムはキリスト教の新しい祈禱生活運動である。

東京都目黒区中央町1-21-10

碑文谷教会気付

日本クリスチャン・アシュラム連盟